

さぎそう学舎  
世田谷区立九品仏小学校  
学校運営委員会委員長 様  
学校長 様

学校関係者評価委員会

## 令和7年度 世田谷区立九品仏小学校 関係者評価委員会 報告書

世田谷区立九品仏小学校学校関係者評価委員会では、地域運営学校として、学校・家庭・地域との連携・協働をめざす本校において、さらにより良い教育活動が展開されるよう、関係者アンケート（共通項目・独自項目）などの評価資料をもとに、令和7年度の教育活動全般について、考察・検討を進め、以下のようにとりまとめました。学校および学校運営委員会において、これらの結果を参考とし、今後の対策の検討資料として役立てていただきたく、ご報告申し上げます。なお、記述の根拠となる評価資料は別紙にとりまとめました。

### 【総 評】

今年度におきましては、児童に対する調査項目のうち「1（1）学ぶことが楽しい。」のみが世田谷区の共通項目として定められており、その他の調査項目につきましては、本評価委員会において慎重に検討の上、設定したものでございます。

関係者アンケートでは、学校教育全般において、本校が児童、保護者ならびに地域から高い評価と信頼を得ていることを強く感じとれる結果となりました。校長先生をはじめとする教職員の皆様の日頃のご努力の成果と感謝いたします。

また、児童が楽しく学校生活を送っていることに関しましては、保護者や地域の皆様との協働があつてこそのものであり、今後も高い信頼が得られますよう引き続きご尽力されますようお願いいたします。

### 【学校の重点目標について】

#### （1）思考力・表現力のある子どもの育成・・・「よく考える子」

本校では、自ら問いを見つけ、深く考え、自分の考えを他者に伝え合いながら、よりよい解決を見出していく力を身に付けるため、言語活動の充実、ICT機器を活用した対話的な学びの工夫等を実践しています。

児童調査項目の「先生は、課題（めあて）について自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている」の肯定的評価が昨年度比で10ポイント上昇の94%、「授業では、考えたことを話し合ったり発表しあったりする機会がある」で2ポイント上昇の96%と高い評価でした。また、教員の調査においても「私は子どもが考えることや、課題を解決することを大切にしたい授業を行っている」が昨年度比5ポイント上昇の95%、「私は子どもが考えたことを話し合ったり発表しあったりする授業を行っている」も同様に5ポイント上昇の95%と高い評価でした。授業を受けもつ先生方が他者とのつながりを意識して学びを広げ深める授業を展開され、子どもたちも他者の考えを受け入れたり、比較したりすることで思考力や表現力がさらに身につくことが期待できます。

#### （2）すすんであいさつする子の育成・・・「思いやりのある子」

「心と心をつなぐ行動」として、あいさつを重点目標の1つとし、全校で取り組み、あたたかい雰囲気のある学校を目指していることは、子どもたちの将来にとっても意義深いものと考えます。

昨年度、「私は、～にあいさつをしている」について、先生方の高い評価に比べて、児童、保護者、地域の評価が前年度より下がる傾向が見られましたが、本年の児童の評価も前年度比で肯定的評価が4ポイント減の78%となりました。決して低い評価ではありませんし、年間を通しての「朝のあいさつ運動」、学校、家庭、地域が連携してのあいさつ運動が行われていますが、より多くのあいさつが響きあうための指導の充実が必要であるかと思われまます。

### (3) 実技教科の充実と課題解決力の育成・・・「たくましい子」「進んで取り組む子」

本校では音楽、図工、家庭科、体育などの実技教科を通して創造力や協働力のみならず達成感や試行錯誤し、よりよい方法を探っていく力を身に付ける場としてとらえています。

アンケートでは、実技教科に特化した設問はありませんが、実技教科の成果の発表の場でもある学校行事（運動会、音楽会等）について考察します。児童調査項目の肯定的評価は「学校行事は楽しい」が92%、「達成感がある」が90%、保護者調査項目で「子どもにとって楽しい」が96%、「子どもにとって達成感がある」が97%と、昨年と同様の高い評価でした。また、児童および保護者調査項目の「先生、学校は子どもの意欲を大切にしている」がそれぞれ92%と前年比で5～6ポイント上昇し、特筆すべきと考えます。地域調査項目の「学校行事の内容は充実している」も前年通り肯定的評価は100%でした。

#### 【評価委員会で意見が出された項目】

- ・学習に関する児童調査項目「学ぶことが楽しい。」（肯定的意見82%）は、一定の水準を示しています。一方で、本校児童は、失敗を恐れるあまり、自ら進んで挑戦することを控える傾向がうかがえます。これからの社会においては、自ら課題を見だし、考え、行動する力が一層求められます。失敗を前向きに捉え、安心して様々なことに挑戦できる学習環境の充実を図っていく必要があります。
- ・生活指導に関する児童調査項目「先生に注意されたことは理解できる。」（肯定的意見96%）および、保護者調査項目「本校は、学校での過ごし方やルールについて、子どもに考えさせる指導をしている。」（肯定的意見87%）はいずれも高い数値を示しています。これらの結果から、本校において発達段階に応じた生活指導を継続的に実施してきたことについて、一定の成果が表れていると評価できると考えます。また、児童朝会や朝の会、帰りの会等において教職員が計画的・継続的に指導を行っていることに加え、上級生が下級生の手本となろうとする意識をもち、下級生が上級生を模範として捉えるなど、望ましい人間関係が形成されている様子がうかがえます。
- ・今年度は、下校時に走ったり飛び跳ねたりするなど、落ち着きに欠ける行動が見受けられました。特に、交通量の多い場所が通学路に含まれていることから、安全面への配慮が一層求められる状況です。学校として計画的かつ継続的に取り組んでいく必要があると考えます。
- ・全般に関する児童調査項目「私は、家族・先生・友達・地域の方に自分からあいさつをしている。」（肯定的意見78%）および、保護者調査項目「わが子は、地域の知っている人や先生にあいさつをしている。」（肯定的意見85%）において、児童の肯定的意見にやや低下が見られる結果となりました。本校では、これまで自ら進んで挨拶ができる児童の育成に取り組んできていますが、調査結果を踏まえると、さらなる指導の充実が求められます。本校は、低学年の段階から地域に根ざした学習を行い、地域との関わりが深い特色を有していることから、学校内のみならず、地域の中で自ら挨拶をする意識を高めるための声掛けや指導を一層充実させていく必要があります。
- ・全般に関する児童調査項目「私は、ルールを守ってタブレットを使っている。」（肯定的意見87%）および、保護者調査項目「わが子は、ルールを守ってタブレットを使っている。」（肯定的意見88%）はいずれも高い数値を示しています。これらの結果から、タブレットの使用に関する指導について、一定の成果が表れていると考えられます。また、本校では、鉛筆を用いて書く学習とタブレットを活用した学習を適切に区別し、それぞれの特性を生かした指導を行っており、今後も引き続き効果的な活用を進めていくことが求められます。

#### 【終わりに】

本委員会の基本的な考え方は、「子どもたちにとってよりよい九品仏小学校の創造」です。未来を担う子どもたち一人ひとりの多様な個性が活かされる教育の推進にむけて、教育の有るべき姿を模索し、来年度も、九品仏小学校がより魅力ある学校として発展されることを期待しています。